

Fujitsu

しょう ちゅうとう きょういく む きょうざい ていきょう  
初等中等教育向けデジタル教材提供サービス

つか かた  
使い方

じどう せいと へん ぼっすいばん  
児童生徒編【抜粋版】

ふじつう かぶしきがいしゃ  
富士通Japan株式会社

だい はん ねん がつ にち  
第1.5版（2024年6月27日）



もくじ  
**目次**

---

<small>もくじ</small> <b>目次</b> .....	P2
<b>はじめに</b> .....	P3
<small>しょう</small> <b>1章 デジタル教材提供サービスの開始、終了</b> .....	P5
1-1 デジタル教材提供サービスをはじめると	P5
1-2 デジタル教材提供サービスを終わると	P6
<small>しょう</small> <b>2章 学習する</b> .....	P7
2-1 学習をはじめると	P7
2-2 答え合わせをする	P13
2-3 まちがい直しをする	P14
2-4 おさらいチャレンジ	P15
<small>さんこう</small> <b>参考 学習する ツールバー</b> .....	P9
<small>さんこう</small> <b>参考 便利な2画面機能</b> .....	P11
<small>さんこう</small> <b>参考 便利な全画面モード</b> .....	P12

# はじめに

## 本書について

本書は「デジタル教材提供サービス」の使い方を記載した児童生徒向けの操作手引書の【抜粋版】です。

- ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容は、関係者以外に公開しないでください。
- ・本書の内容は、将来予告無しに変更することがあります。
- ・本書の内容は、万全を期して作成しておりますが、ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、発行元までご連絡ください。
- ・Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excelは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

## ご利用にあたっての留意事項

- ・画面のスクリーンショットを取得する行為や印刷する行為は禁止されていますのでご遠慮ください。
- ・個人情報保護や秘密情報保護の観点から、本システムを操作する様子に関係者以外に公開しないでください。
- ・個人情報保護や秘密情報保護の観点から、本システムを利用する際はのぞき見に注意してください。
- ・個人情報保護や秘密情報保護の観点から、多要素認証に使用する端末の紛失に注意してください。
- ・利用端末を紛失した場合は、すぐにアカウントの利用停止またはパスワードの変更を行ってください。
- ・パスワードは他人が類推しにくいものを設定してください。  
【ご注意】本システムはログイン時に複数回パスワードを間違えた際のアカウトロックの仕組みがありません。安全のためできるだけ長い(10文字以上)複雑なパスワードにされることを推奨します。
- ・個人情報保護や秘密情報保護の観点から、児童生徒の転出や卒業などによってアカウントが不要になった場合はアカウントを利用停止してください。利用停止の操作については、「学校管理者向け管理機能マニュアル」及び「転出児童生徒登録方法編」をご確認ください。

# はじめに

## タブレットの使いかた

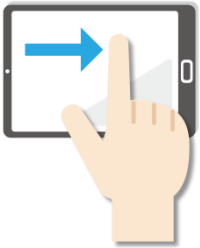
デジタル教材提供サービスは、タブレットを利用しタッチ操作を行います。タッチ操作の基本動作を説明します。



- **スワイプ**  
画面に指をふれたままなでるように短く動かします。



- **長押し**  
画面に指をふれたまま、約1秒間そのままにする操作です。マウスの右クリックと同じ操作をするときに使います。



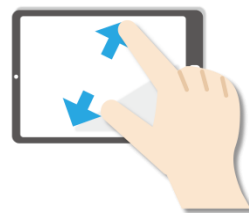
- **スライド**  
画面に指をふれたまま最初から最後まで画面から指を離さずに行う操作です。マウスのドラッグと同じ操作をするときに使います。



- **ピンチイン**  
画面を親指と人差し指でつまむように動かす操作です。画面を縮小するときに使います。



- **タップ**  
画面を軽く押す操作です。押し続けるのではなく、すぐに指を離します。マウスのクリックと同じ操作をするときに使います。



- **ピンチアウト**  
画面を親指と人差し指で広げるように動かす操作です。画面を拡大するときに使います。



- **ダブルタップ**  
画面をすばやく2回押す操作です。マウスのダブルクリックと同じ操作をするときに使います。



- **パン**  
2本の指でタッチし、左右上下の画面をスライドします。1画面で表示できずに部分表示された場合、目的の表示位置に移動させたいときに使います。

# 1章 デジタル教材提供サービスの開始、終了

## 1-1 デジタル教材提供サービスをはじめめる

1 ログイン画面を表示します。



2 ログイン画面で ①「ID」「パスワード」を入力します。

②「ログイン」をタップします。


※もしパスワードがわからなくなった場合は、先生に相談してください。

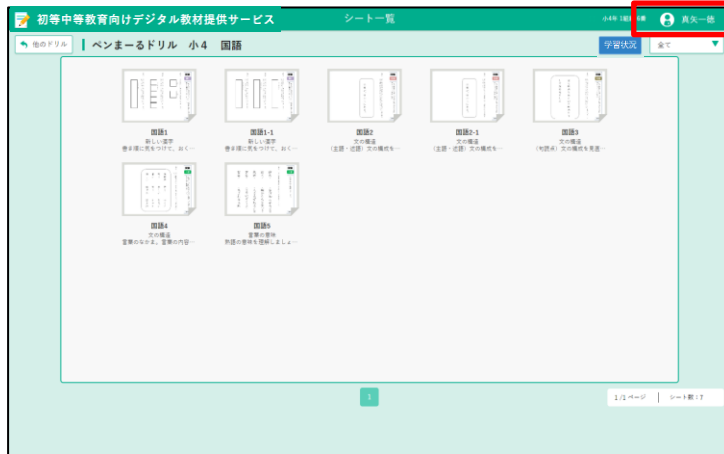



3 ドリルが表示されました。

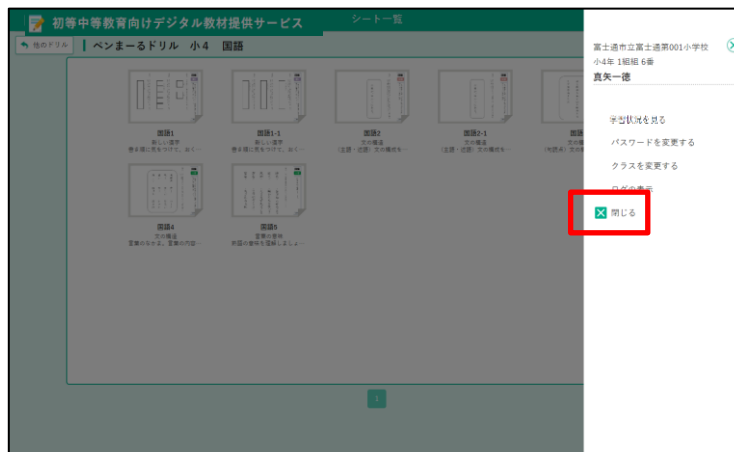


## 1-2 デジタル教材提供サービスを終わる

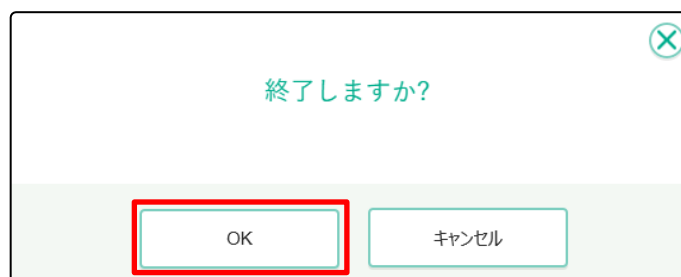
1 「 あなたの<sup>なまえ</sup>名前」をタップします。




2 「 閉じる<sup>と</sup>」をタップします。



3 メッセージが表示されます。<sup>ひょうじ</sup>「OK」をタップします。



4 ログイン画面<sup>がめん</sup>が表示されます。<sup>ひょうじ</sup>「閉じる<sup>と</sup>」をタップします。

 **ポイント** ブラウザの閉じるボタン<sup>と</sup>をタップして終わる<sup>お</sup>こともできます。

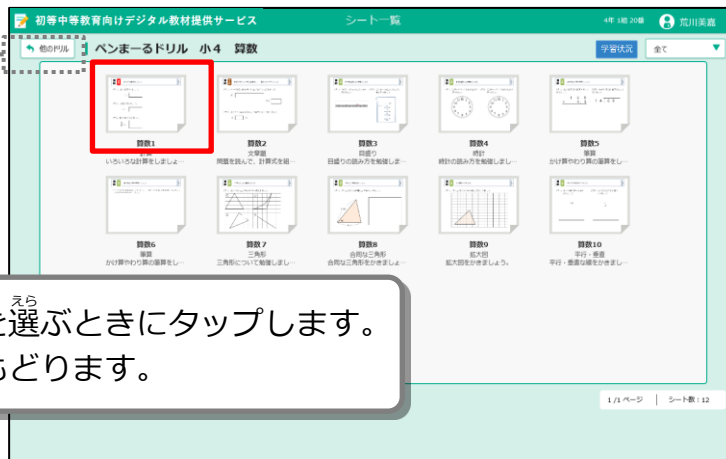
# 2章 学習する

## 2-1 学習をはじめめる

1 学習するドリルをタップします。



2 シートの一覧が表示されます。学習するシートをタップします。



3 シートが表示されます。シートの内容を見て、「チャレンジ」をタップして学習をはじめます。



こた か 答えを書くときに…

シートのサイズを変えたい

シートを小さくしたい

【ピンチイン】

がめん おやゆび ひとさ ゆび 画面を親指と人差し指で

つまむように動かす



シートを大きくしたい

【ピンチアウト】

がめん おやゆび ひとさ ゆび 画面を親指と人差し指で

ひろげるように動かす



シートの位置を変えたい

ほんゆび 2本指でタッチし、 さゆうじょうげ がめん 左右上下に画面をスライドさせる



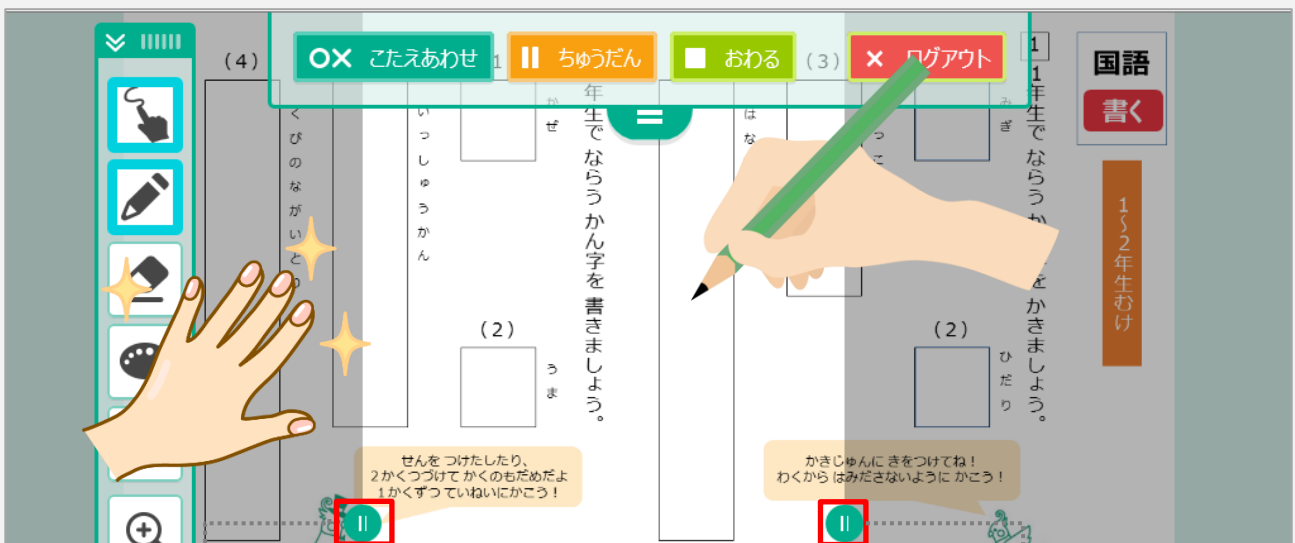
指モード

iPadの場合は指モードをオフにして上の操作をしてください。



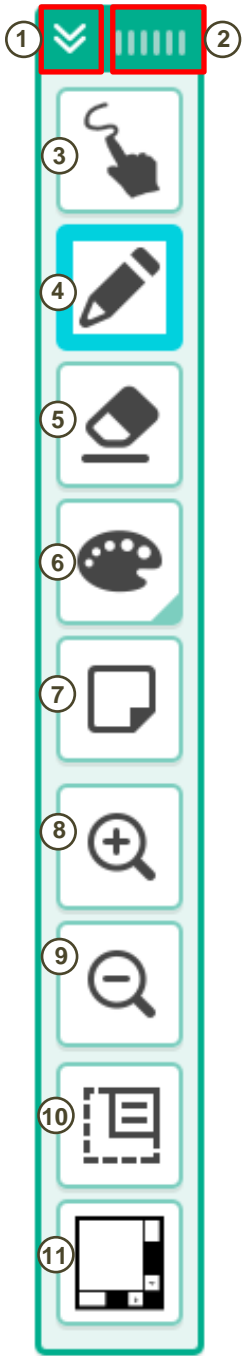
手をついて答えを書きたい

シートチャレンジ画面の灰色の範囲は手をついても、ペンで書いても操作できなくなっています。 たとえば右利きの場合、左側に手をついてもいい範囲を引き出し、そこに手をついて書くととても書きやすいです。



手をついてもいい範囲は || をタップして スライドすることで、自分で調節できます。





**① ツールバーを開きたい／たたみたい**  
タップすると、ツールバーをたたんで小さくしたり、元の表示にもどしたりします。

**② ツールバーを動かしたい**  
スライドすると、動かせます。

**③ 指で文字を書きたい**  
指をタップして、ペンを選ぶと指で文字が書けます。  
文字を消したいときは、消しゴムをタップしてから消したい文字の上を指でなぞります。注意 指モードのときピンチアウト、ピンチインは使えません。Q Q を使ってシートの大きさを調整してください。

**④ 答えを書きたい**  
答えを書きたいときは、ツールバーのペンを使ってみましょう。

**⑤ 文字を消したい**  
ツールバーの消しゴムを使って消してみましょう。  
次のように書いた答えの上をペンでぬりつぶしても消せます。

11 + 19 = 答えを消したら、ペンをタップして答えを書きます。

**⑥ 文字の色や太さを変えたい**  
ツールバーのパレットをタップすると、色と太さの見本が表示されます。  
好きな色、好きなペンの太さを選びます。

**⑦ メモを書きたい**  
メモを書いておきたいときは、ツールバーのふせんを使ってみましょう。  
※30ページを見てください。


**⑧⑨ 問題を大きくしたい／小さくしたい**  
問題シートは大きくしたり、小さくしたりできます。  
ピンチアウト、ピンチインするか、ボタンを使います。

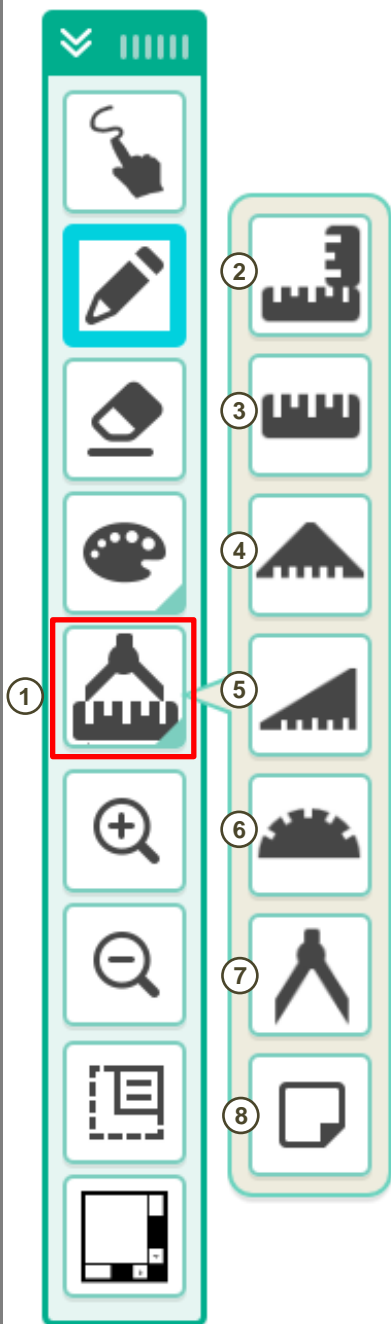
**⑩ シートを画面いっぱいに表示したい**  
シートのサイズや位置を変えた後に、画面いっぱいの最初の状態に戻したいとき、つかに使ってみましょう。余白がない状態で表示されます。

**⑩ スクロールバーを表示したい**  
タッチ操作ができないパソコンなどを使っていて、シートの表示位置を変えた場合、スクロールバーをクリックするとスクロールバーが表示されます。

次ページに続く

まえ つづ  
前ページからの続き

図形をかくシートの場合は、表示されるツールバーが変わります。  
作図ツール  をタップすると、じょうぎやコンパスなどの作図ツールを出すボタンが表示されます。



さくず  
作図ツール

① 図形をかくための作図ツールを出したい



タップすると、図形をかくための作図ツールが表示されます。



② 「ばんのうじょうぎ」を出したい

ばんのうじょうぎひとつで、じょうぎ、分度器、コンパスでことができます。



③ 「直線じょうぎ」を出したい

直線の長さをはかり、線・点線を引く、点を書くことができます。



④ 「二等辺すい直角じょうぎ」を出したい

直線の長さをはかり、線・点線を引く、点を書くことができます。  
すい直の線を引くこともできます。



⑤ 「すい直角じょうぎ」を出したい

直線の長さをはかり、線・点線を引く、点を書くことができます。  
すい直の線を引くこともできます。



⑥ 「分度器」を出したい

角度をはかることができます。



⑦ 「コンパス」を出したい

円をかいたり、半径線を引くことができます。



⑧ メモを書きたい

メモを書いておきたいときは、ツールバーのふせんを使ってみましょう。  
※次のページを見てください。

こた か  
答えを書くときに その2 - 便利な2画面機能! -

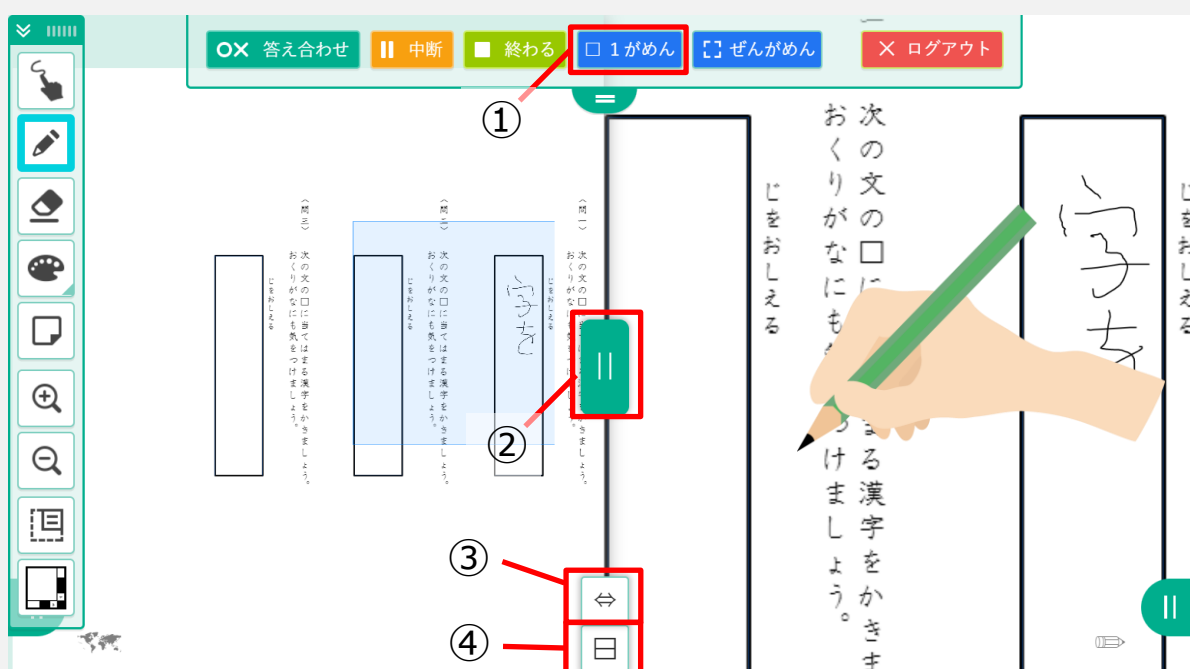
ぜんたい かくにん こた か こ  
シート全体を確認しながら答えを書き込みたい

がめん ぜんたい み こた か かくだいひょうじ がめん  
シートチャレンジ画面の全体を見ながら答えを書くところを拡大表示することができます(2画面モード)。

した あかわく お ぜんたい がめん か こ がめん りょうほう どうじ み  
下の赤枠の「2がめん」ボタンを押すことで、シート全体の画面と書き込む画面の両方を同時に見ることができます。



がめん した ず あかわく そうさ がめん もど  
2画面モードでは下の図の赤枠のところでいろいろな操作ができます。① 1画面モードに戻る、  
② スライドで画面サイズが変わる、③ 左右画面を入れ替え、④ 画面を上と下に分ける

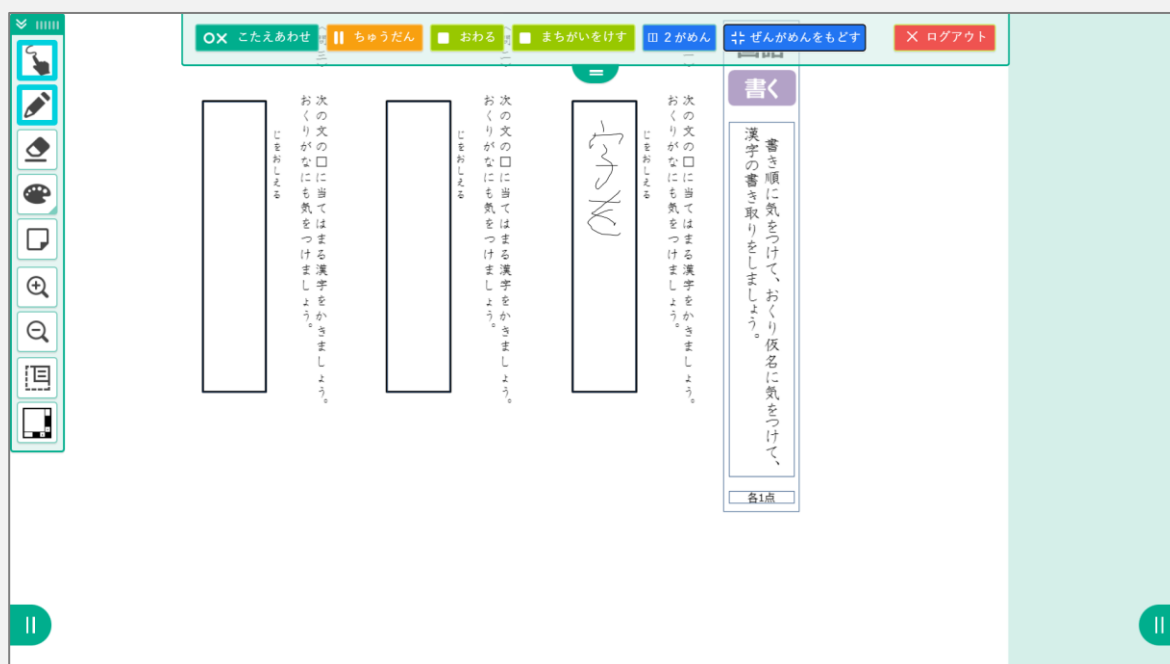


つぎ つづ  
次ページに続く

まえ つづ  
前ページからの続き

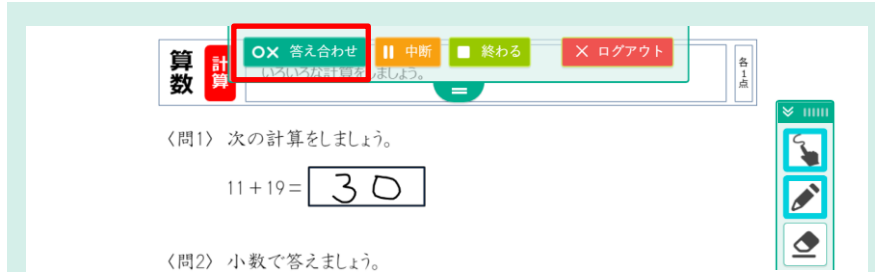
## べんり ぜんがめん がめん ひろ つか 便利な全画面モード (画面を広く使いたい)

がめん いがい よぶん け ぜんがめん ひょうじ ぜんがめん  
シートチャレンジ画面以外の余分なところを消して、全画面いっぱいに表示することができます(全画面モード)。  
した あかやく お ぜんがめん  
下の赤枠の「ぜんがめん」ボタンを押すことで、全画面モードになります。



## 2-2 答え合わせをする

1 「答え合わせ」 **OX 答え合わせ** をタップします。



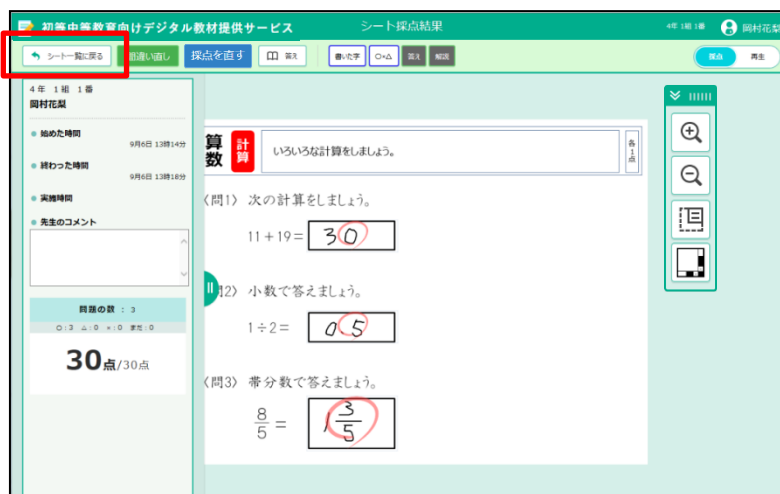
2 メッセージが表示されます。「OK」をタップします。

3 答え合わせの結果、満点の場合にデジタル教材提供サービスからメッセージが表示されます。画面のどこかをタップします。



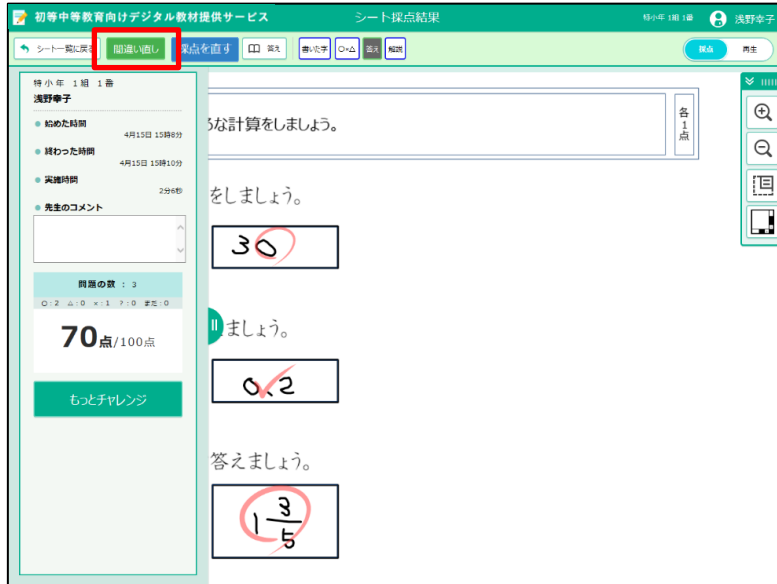
4 シート採点が表示され「○」や「✓」がついて、シート採点結果が表示されます。

学習をおわるときは、「シート一覧に戻る」をタップします。

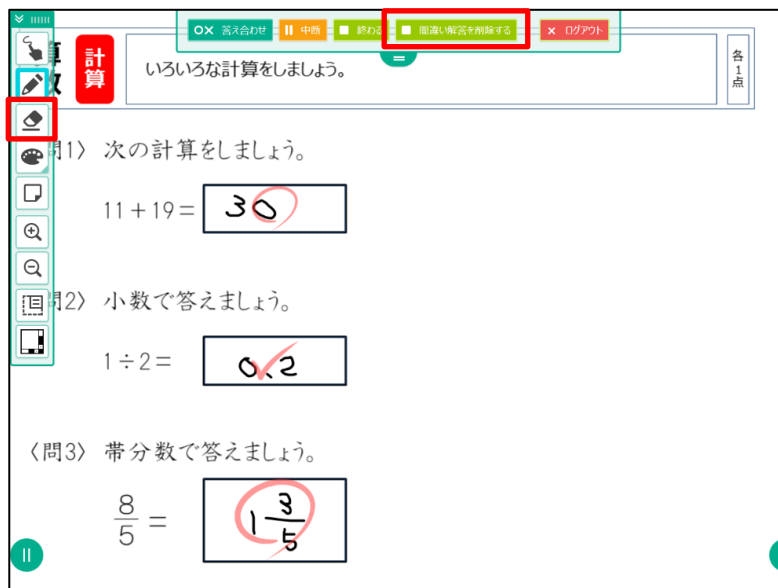


## 2-3 まちがい直しをする

1 「間違い直し」をタップします。



2 シートを答える画面が表示されます。まちがい直しをしたい問題の文字を「消しゴム」や「間違い解答を削除する」等で消してから答えを書きます。



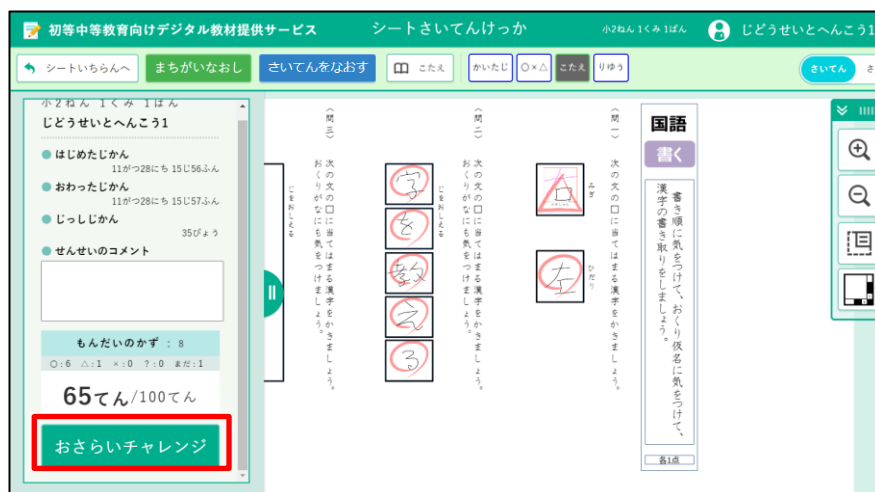
3 答えが書けたら「答え合わせ」をタップします。

## 2-4 おさらいチャレンジ

シート採点の後、さらに追加のおさらいチャレンジをすることができます (間隔反復学習)。

おさらいチャレンジでは過去にやったシートのうち、もう一度チャレンジすべきシートがおすすめされます (おすすめがない場合もあります)。

- 1 答え合わせが終わったあとのシート採点結果画面で「おさらいチャレンジ」をタップします。



- 2 次にチャレンジすべきシートが表示されます。「チャレンジできるシートはありません」と表示される場合もあります。



デジタル教材提供サービス 使い方 【抜粋版】

発行日 2024年6月27日

発行責任 富士通Japan株式会社

Copyright 2022-2023 FUJITSU JAPAN LIMITED